



先ず以て謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。また神宮に於かれましては諸祭志なく齋行されておられますこと誠に慶賀に存じ上げます。

本年五月に新型コロナウイルスの感染症区分が五類相当に引き下げられたことを受けて、県内各地でも祭礼行事復活の声がか聞かれました。誠に喜ばしいことでございます。

当会に於きましても過去三カ年に亘つて事業の自粛や規模縮小などの措置を取っておりましたが、本年度は出来るだけ平常通りに戻すべく計画段階から準備を進めて参りました。定例総会から始まり護國神社の諸祭への参列、ともしびのつどい助勢、交通遺児募金活動と交通安全祈願祭、会員研修旅行など、これまでのところ全ての事業滞りなく取り進めております。

但し、何もかもがコロナ前に戻った訳ではありません。三年の間にこれまで当会を中心的に支えて来られた多くの先輩方が四十歳の年限を迎えて卒業なされ、役員の世代交代が一気に進みました。現役員の中でもコロナ前を知らない者が半数に上っております。また会員数も現在六十五名と最盛期のほぼ半分にまで落ち込んでおり、今後も減少傾向が続くと予想されます。

このような未来を見据え、次のような年度方針を作成しました。恒例事業は時代に合わない部分を改めつつ永く持続可能な

やり方を検討すること。役員会は減員に耐え得るコンパクトな組織作りを目指すこと。すぐに結果は出ないかもしれませんが、アイデアを出し合い試行錯誤する姿勢を持ち続けることが当会にとつては必ずや今後の難局を乗り越える力になるものと考えております。

加えて、来る令和六年に当会は創立七十五周年を迎えます。本年度の始めに、創立七十五周年実行委員会を立ち上げて会議を重ね、周年テーマを「人と思い、つながり架け橋」と定めました。今回の周年では、今後の青年会を主導できる人材を育成するために若手主体で立案運営を行う研修事業、並びにコロナ禍によって交流の機会を制限された会員同士の繋がりを今一度繋ぎ直すための親睦事業、以上二点を基本として現在準備を進めております。

私たちは今回のコロナ禍を通して、仲間同士でさえも参加が叶わない不便さや空虚さ、参加することのできる有り難さや喜びを同時に実感いたしました。会員相互の親睦を強固なものとし、より活発な青年会活動を展開して参る所存でございます。

結びに、県内各社頭の益々のご隆昌とご関係皆様のご健勝をご祈念申し上げ、今後とも当会の諸活動に格別のご理解とご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

ごあいさつ
滋賀県神道青年会会長
馬見岡綿向神社 禰宜 社 信大

令和5・6年度
役員紹介



顧問
滋賀 明寛
昭和五十七年一月十六日生
天孫神社 欄宜



副会長
吉田 豪希
平成元年一月二十九日生
日枝神社 欄宜



副会長
田邊 泰基
昭和六十二年二月二十日生
新宮神社 欄宜



副会長
菱川 敬康
昭和五十八年一月二十八日生
日吉大社 権欄宜



会長
社 信大
昭和五十九年六月七日生
馬見岡綿向神社 欄宜



広報委員会副委員長
浅田 雅智
昭和六十年九月十日生
大笹原神社 宮司



広報委員会委員長
河毛 孝仁
平成三年五月七日生
水尾神社 欄宜



会計局次長
岳 未晶
平成六年一月二十六日生
日牟禮八幡宮 権欄宜



会計局長
大木 洋宜
平成二年四月五日生
近江神宮 権欄宜



事務局次長
井口 雄
平成五年五月二十九日生
兵主神社 権欄宜



事務局長
中山 慶太
平成三年十二月二十一日生
田村神社 権欄宜



渉外委員会副委員長
的場 亮
平成七年四月四日生
長濱八幡宮 権欄宜



渉外委員会委員長
文室 明康
平成四年十一月十八日生
押立神社 宮司



教化委員会副委員長
橋本 美緒
平成五年三月二日生
御上神社 権欄宜



教化委員会副委員長
塩谷 明宏
昭和六十年十一月十二日生
日吉大社 権欄宜



教化委員会委員長
小野 定紀
平成四年八月二十三日生
苗村神社 欄宜



広報委員会副委員長
宮澤 知生
平成二年七月三日生
多賀大社 権欄宜



監事
野上 浩司
昭和五十九年四月二十三日生
多賀大社 権欄宜



監事
多々良 夢人
昭和五十七年五月三十日生
日牟禮八幡宮 権欄宜



企画委員会副委員長
新宮 孝
平成九年八月十八日生
長等神社 宮司



企画委員会副委員長
中西 勝哉
平成四年五月六日生
阿賀神社 権欄宜



企画委員会委員長
下井 紀貴
平成四年九月十一日生
日枝神社 権欄宜



渉外委員会副委員長
河毛 照仁
平成九年十二月二十四日生
建部大社 権欄宜

令和五年度 滋賀県神道青年会 定例総会開催

令和五年五月十八日、滋賀県神社庁において滋賀県神道青年会定例総会を行った。

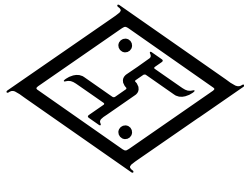
総会では、菱川副会長の開会の辞に始まり、神宮遙拝、国歌斉唱を行い、小野教化委員長先導のもと、敬神生活の綱領を唱和し、社会長が挨拶を述べた。

ご来賓には、滋賀県神社庁庁長・日吉大社宮司 馬淵直樹様を始め、参議院議員 有村治子様ご代理 鶴田由紀子様、神青OB会会長・田村神社宮司 田村英治様、滋賀県神社庁参事 笠島実俊様、当会前監事 伊東良祐様にご臨席賜り、挨拶を戴いた。

続いての議事では、令和四年度の事業報告・会計決算報告、令和五年度の事業計画案・予算案といった議事が慎重に審議され、いずれも原案通り承認された（詳細は次頁以降を参照されたい）。

議事終了後には、「神道青年の歌」「美はしき山河」を斉唱し、滋賀顧問によって聖寿の万歳を三唱し締め括られた。

総会後には、新型コロナウイルス感染症により長らく取りやめていた飲食を伴う懇親会を行い、和気藹々とした雰囲気の中、新入会員の顔合わせや会員同士が親睦を深める有意義な時間となった。



井筒装束店

〒601-8347
京都市南区吉祥院観音堂南町7番地1
TEL 0120-075-980
FAX 0120-075-970

井筒授与品店

〒601-8348
京都市南区吉祥院観音堂町23番地
TEL 0120-075-820
FAX 0120-075-890



伊勢國産合資会社

全国各神社 御神符御社頭授与品 奉製所

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町八七
TEL 0596-212129
FAX 0596-121233

創業安政式年 授与品・神具



御守袋・錦守・木札・紙札
朱印帳・土鈴・絵馬・装束
記念品・神具

株式会社 秋江

〒602-0056
京都市上京区堀川通り上売売下ル
北舟橋町835

TEL 075(432)2255
FAX 075(441)8011
URL <http://www.akie-net.com>

伊勢名物

赤福

本店

〒516-0025
三重県伊勢市宇治中之切町二六番地
電話 〇五九六・二二二五
フリーダイヤル 〇一二〇・〇八二三八一
<https://www.akafuku.co.jp>

令和五年度 活動基本方針

いま日本は、そして日本人が受け継いできた伝統文化は、かつてない危機を迎えている。

令和二年初旬、中国武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症は瞬く間に全世界規模の大流行を引き起こし、人々の社会生活は三ヶ年に亘って大きく制限された。人が集まること自体が憚られる中で地域や学校などの諸行事は悉く中止となり、神社界においても参集を伴う神事や神賑行事の殆どが規模縮小等の対応を余儀なくされた。未だ原状へ回復するには至らず、一度止まった伝統継承の流れを再び動かせるのかどうか危惧は尽きない。

然し、このような時だからこそ我々青年神職は行動を起こすべきである。先輩諸兄が継承して来られた当会創建の志を受け継ぎ、柔軟な発想力や機敏な行動力、そして急速に移りゆく時代の変化への順応力を以て、自己の研鑽に努め人々の信仰や伝統の復興のために智慧を絞るべきである。

今年度、当会は「未来のために、今できること」をテーマとして活動する。

時機に応じた魅力的な新企画の立案を目指す専門委員会を立ち上げて既存委員会の統廃合を行うほか、恒例事業については過去の経緯等への理解を深めつつ現状に即した新たな試みを検討するなど、今後の会員数の減少も念頭に置いた効果的かつコンパクトな組織づくりを実行する。また翌令和六年度に当会創立七十五周年を迎えるにあたり、青年会の次世代を担う会員を育成すると共に、コロナ禍中に制限された会員相互の交流を今一度繋ぎなおすために親睦行事を積極的に企画する。

神社神道の未来のために、これからの青年会員のために、そして自身の将来のために、今できることを会員一人ひとり が事業の中で模索して戴きたい。未来のために、今こそ事為すべき時である。

滋賀県神道青年会 会長 社信大

和紙 おまもり
神社仏閣授与品奉製



株式会社
おの奉成

本社 千代田
滋賀県高島市新旭町薬園2524-14
TEL 0740-25-4921
FAX 0740-25-6641

京都営業所
〒601-1414
京都市伏見区日野奥出11-42
TEL 075-575-6057
FAX 075-575-6058

純米酒



千代子代

清酒・焼酎・ワイン・リキュール・製造元

太田酒造株式会社

本社 滋賀県草津市草津3丁目10-37
千代田蔵 神戸市東灘区湊江南町2丁目1-7
東京営業所 東京都足立区千住桜木2丁目13-1
栗東ワイナリー 栗東市荒張浅瀬野1507-1

団体旅行・貸し切りバスのご用命は
観光庁長官旅行業第2072号

近江鉄道グループ

近江トラベル株式会社

〒521-0101
彦根市駅東町十五番一
TEL 0749-21-2330・八

自分史・町史・字史
俳句集・短歌集
周年記念誌等



企画から納品まで一貫したトータルシステムで
編集・発行をお手伝いさせて頂きます
多く手がけている当社に、是非ご相談ください

近江印刷株式会社
https://www.omi-in.co.jp
TEL0749-42-8400(代)

令和4年度 滋賀県神道青年会決算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

収入合計 2,939,823 円

支出合計 1,590,574 円

差引 1,349,249 円 (次年度へ繰越)

〔収入〕

(単位：円)

科目	決算額	予算額	増減	備考
1.会費	325,000	345,000	△ 20,000	会費5千円×64名+3年度分1名
2.助成金	380,000	380,000	0	神社庁(33万円)、神青08会(5万円)
3.諸収入	481,762	370,000	111,762	にほのうみ協賛金(36万5千円)、祝金、利息等
4.繰入金	300,000	300,000	0	事業会計(10万円)、基金(20万円)
5.繰越金	1,453,061	1,453,061	0	前年度より
合計	2,939,823	2,848,061	91,762	

〔支出〕

(単位：円)

科目	決算額	予算額	増減	備考
1.総会費	40,000	40,000	0	定例総会、臨時総会
2.会議費	6,350	20,000	△ 13,650	役員会
3.抛出彩	224,000	224,000	0	神青協・近畿抛出彩
4.委員会費	376,793	770,000	△ 393,207	新入会員歓迎会及び会員親睦会、交通安全祈願祭、野球部・ゴルフ部補助等
総務・渉外	178,818	440,000	△ 261,182	
広報・事業	187,223	210,000	△ 22,777	広報誌発行、ホームページ管理、事業用品カタログ発送
教化	10,752	120,000	△ 109,248	大麻頒布活動
5.事務費	155,422	150,000	5,422	郵券費、事務用品、封筒作製費等
6.慶弔費	45,412	60,000	△ 14,588	玉串料、祝金等
7.補助費	232,350	400,000	△ 167,650	出向補助金
8.諸費	10,247	30,000	△ 19,753	支払手数料等
9.積立金	400,000	400,000	0	基金(40万円)
10.準備金	100,000	100,000	0	創立75周年準備金
11.予備費	0	654,061	△ 654,061	
合計	1,590,574	2,848,061	△ 1,257,487	

令和四年度 滋賀県神道青年会事業報告

- ・定例総会
- ・臨時総会
- ・災害対策の準備と対応

- ・滋賀県護国神社みたま祭参列の励行
- ・神青野球部・ゴルフ部の運営補助
- ・野球大会・ゴルフコンペの出向補助

- ・各事業の広報活動
- ・事業用品の頒布、及び宣伝強化

〔総務・渉外委員会〕

- ・新入会員歓迎会並びに会員親睦会の実施
- ・交通安全祈願祭の斎行
- ・交通遺児募金活動の実施
- ・滋賀県護国神社春秋例大祭奉仕、参列の励行

〔広報・事業委員会〕

- ・「にほのうみ」の発行並びに企業広告協賛金の依頼
- ・「ミニ通信」の発行
- ・ホームページ・SNSの管理運営

〔教化委員会〕

- ・神宮大麻頒布活動の実施
- ・神棚パーパークラフト頒布活動の実施

木製馬
絵箱 製造・販売

有限会社

折一

〒640-8324 和歌山市吹屋町三丁目二〇一四
電話(〇七三)四三六一二四一〇
FAX(〇七三)四二五二六三四五
HP http://www.ori.co.jp

神社授与品・神社用品奉製

古都奈良の

株式会社 垣内奉神堂

〒630-8431 奈良市窪之庄町六二九番地
電話 〇七四二一五〇一一二九
FAX 〇七四二一五〇一一二六
E-mail info@kakinouchi-hosindo.jp

神祭具 授与品 記念品 奉製

株式会社 神路社

本社 〒五二六八六一
三重県伊勢市番町二丁目五番九号
電話(〇五九)四三六八八八 FAX(〇五九)二四五一〇
E-mail info@kanjisya.co.jp
神苑(兼日本営業部) 〒一五〇〇〇一
東京都渋谷区比奈二丁目十九番十四号ACTビル四階
電話(〇三)三三〇七〇一 FAX(〇三)三三〇六七一
E-mail info-otoyo@kanjisya.co.jp
http://www.kanjisya.co.jp

重要文化財神社仏閣屋根工事

檜皮葺・柿葺・とち葺・土居葺・檜皮採取

滋賀県大津市坂本二丁目八番三三三号

株式会社 河村社寺工殿社

代表取締役 河村 雅史

TEL 〇七七・五七八・〇二二九 FAX 〇七七・五七八・〇一六九

事業用品のご紹介

壁に付けてもよし、置いてもよし
二通りのまつり方ができる。簡易神棚

滋賀県神道青年会オリジナル



付属の押しピンで簡単に取っつけられ、穴も小さく外した跡も目立ちません。

ワイドサイズですので、複数の御神札が横に並べておまつりできます。

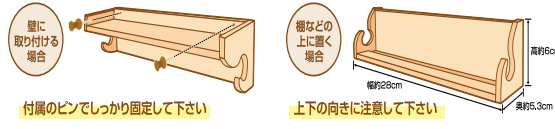
両端は雲をかたどって天を表しています。壁に取り付ける場合、そこに破損穴をかけることもできます。



■中央に神宮大麻・向かって右側に氏神様・左側に奉迎神社の御神札や、回廊けなどの御祈禱の際に受けてきた祈禱札やお守りをおまつりできます。

■初宮詣でや七五三詣でにて受けてきた御神札やお守りをおまつりする。

設置の仕方



※壁の材質によっては付属のピンでは付けられない場合があります。材質に適したものを御使用ください。また、定期的に組み立てを繰り返すと共に埃などを掃除してください。

頒価：600円

注文先 会計局次長 岳 未晶

TEL 077-524-2753（滋賀県神社庁内）

令和4年度 神青基金決算書

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

収入合計 7,398,563 円

支出合計 200,000 円

差引 7,198,563 円（次年度へ繰越）



内訳	定期預金（滋賀銀行）	4,024,407円
	普通預金（滋賀銀行）	3,174,156円

〔収入〕 (単位：円)

科目	決算額	備考
1.繰越金	6,998,487	前年度より
2.繰入金	400,000	一般会計より※
3.諸収入	76	受取利息（定期34円、普通42円）
合計	7,398,563	

※うち20万円は、令和3年度神青協出向補助費として繰出したが、補助対象事業が無かった為、満額繰入金戻し

〔支出〕 (単位：円)

科目	決算額	備考
1.繰出金	200,000	出向補助費の補填の為一般会計へ
合計	200,000	

令和4年度 災害復興支援特別会計決算書

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

収入合計 486,826 円

支出合計 0 円

差引 486,826 円（次年度へ繰越）

〔収入〕 (単位：円)

科目	決算額	備考
1.繰越金	486,822	前年度より
2.繰入金	0	
3.諸収入	4	受取利息
合計	486,826	

〔支出〕 (単位：円)

科目	決算額	備考
1.支援活動費	0	
合計	0	

幕のぼり旗
はっぴ
類

染物一式
(株) 紺善

大阪府岸和田市沼町16-11
TEL072-422-3275
FAX072-439-3234
konzen@gold.ocn.ne.jp

誠実と真心で奉仕する
御守・授与品・参拝記念品奉製
グリーン産商株式会社

〒547-1003 大阪市平野区平野西四丁目八番一九号
TEL 06-6700-6009 代表
FAX 06-6700-5480

環境にやさしい授与品づくりをめざしています
京都のおまもり
祈りのかたち
京の伝統と真心を込めて

京都奉製株式会社

お客様窓口
フリーダイヤル 0120-164124
FAX 0120-383724

受付時間：平日8:30～17:00
京都本社／仙台営業所／東京営業所／福岡営業所／東海営業所／広島営業所
ホームページ <https://www.omamori.co.jp>

文化財修復・社寺建築
木澤工務店

代表取締役 木澤善之
本社 京都市左京区浄土寺真如町一丁目一番地
TEL 075-751-0628 FAX 075-751-9430
営業所 滋賀県愛知郡愛荘町中宿一七三番地
TEL 077-494-1159 FAX 077-494-1159
E-MAIL stga_kizawa@nifty.com

令和5年度 滋賀県神道青年会予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

収入合計 2,819,249 円

支出合計 2,819,249 円

差引 0 円

〔収入〕

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 会費	320,000	345,000	△ 25,000	会費5千円×64名
2. 助成金	380,000	380,000	0	滋賀県神社庁、神青OB会
3. 諸収入	370,000	370,000	0	祝金、協賛金、利息等
4. 繰入金	400,000	300,000	100,000	事業会計、基金より30万(神青協出向補助金)
5. 繰越金	1,349,249	1,453,061	△ 103,812	前年度より
合計	2,819,249	2,848,061	△ 28,812	

〔支出〕

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 総会費	20,000	40,000	△ 20,000	定例総会
2. 会議費	20,000	20,000	0	役員会等
3. 拠出費	224,000	224,000	0	神青協・近畿拠出金
4. 委員会費	845,000	770,000	75,000	
- 渉外	235,000	440,000	△ 205,000	交通安全祈願祭、護国神社奉仕参列励行、野球部・ゴルフ部運営出向補助等
- 広報	140,000	210,000	△ 70,000	会員名簿発行、広報誌発行、企業広告協賛依頼、ホームページ・SNS管理運営等
- 教化	100,000	120,000	△ 20,000	神宮大麻頒布活動、ともしびのつどい助勢、神話の紙芝居等
- 企画	370,000	-	370,000	「神青お社」の運用、新入会員歓迎会、会員研修旅行、装束勉強会等
5. 事務費	350,000	150,000	200,000	挨拶状作製費、郵券費、事務用品、封筒作製費、事業カタログ作製発送・用品購入費等
6. 慶弔費	100,000	60,000	40,000	玉串料、各種祝金
7. 補助費	500,000	400,000	100,000	出向補助
8. 諸費	30,000	30,000	0	支払手数料等
9. 積立金	167,650	400,000	△ 232,350	基金
10. 準備金	100,000	100,000	0	創立75周年準備金
11. 予備費	462,599	654,061	△ 191,462	
合計	2,819,249	2,848,061	△ 28,812	

令和五年度 滋賀県神道青年会事業計画

- ・ 定例総会
 - ・ 創立七十五周年記念事業の実施
 - ・ 事業用品の頒布
 - ・ 神社関係者大会の助勢
 - ・ 災害対策の準備と対応
- 「広報委員会」
- ・ 「にほのうみ」の発行並びに企業広告協賛金の依頼
 - ・ 「ミニ通信」の発行
 - ・ 会員名簿の発行
 - ・ ホームページ・SNSの管理運営

- ・ 記録写真等の収集と管理
 - ・ 各事業の広報活動
- 「教化委員会」
- ・ 神宮大麻頒布活動
 - ・ 神職子弟の集い「ともしびのつどい」助勢
 - ・ 神話の紙芝居口演の実施
- 「渉外委員会」
- ・ 交通安全祈願祭の斎行
 - ・ 交通遺児募金活動の実施

- ・ 滋賀県護国神社春秋例大祭奉仕、参列の励行
 - ・ 滋賀県護国神社みたま祭参列の励行
 - ・ 神青野球部・ゴルフ部の運営補助
 - ・ 野球大会・ゴルフコンペの出向補助
- 「企画委員会」
- ・ 「神青お社」の運用
 - ・ 新入会員歓迎会の実施
 - ・ 会員研修親睦旅行の実施
 - ・ 装束勉強会の実施

神棚に御札をおまつりし
家内の安全をお祈りいたしましょう

板葺神棚 (中)
外寸：幅46×高44×奥20cm
内寸：幅12.5×高32×奥8cm
10,000円(税込)

洋風神棚
外寸：幅20.6×高30.6×奥8.2cm
おまつりできる御札(最大)角版
2,000円(税込)

茅葺神棚 (中)
外寸：幅57.5×高51.5×奥37.5cm
内寸：幅21.5×高32×奥8cm
50,000円(税込)

※茅葺神棚・板葺神棚の大きさは各(大)(中)(小)がございます。他に壁掛け用神棚もございます。種類・寸法など詳しくはホームページをご覧ください。頂くか、以下の連絡先からお願いたします。

ゆとりとやすらぎの宿
神宮会館
伊勢神宮崇敬会

TEL 0596-22-0001/FAX 0596-22-1517
E-mail tshuhan@jingukaikan.jp

御神矢・絵馬・
招福熊手・授与品

御神矢
奉製元

嶋村

〒614-8085
京都府八幡市八幡馬場65
TEL・FAX
(075)981-0203

まんまる
とまんと
伝之よう

creative agency

広告制作/ジッセン
〒520-0031 大津市尾花川13-52
TEL.077-522-2721・FAX.077-525-4901
zissen@alpha.ocn.ne.jp

【国宝重要文化財修理】

株式会社 **さかい**

〈本社〉滋賀県野洲市小幡原7-1
TEL (077) **587-1178**
FAX (077) 587-5355
営業時間：本店AM9:00～PM6:00

御神輿
神具

平成八年度
賞状褒章受賞
平成七年度
文部大臣賞受賞

野洲市8号線沿

E-mail kiyochiro@fancy.ocn.ne.jp
URL http://www13.ocn.ne.jp/~kk-sakai/

ともしびのつどい

八月九日から十日にかけて、滋賀県神社庁が主催する「ともしびのつどい」が開催された。

本年はコロナ禍が明け、久々に宿泊を伴う開催形式となり、神職子弟七名参加のもと、当会からも十九名が助勢に伺った。

毎年当会が企画運営しているハンドクラフトの部では、手作りの絵馬を作成し、子どもたちは思い思いに趣向を凝らしオリジナルの絵馬を完成させていた。二日間の日程では、簡易な祭作法の修練や火鑽具で灯した浄火の献灯を行った。火鑽具という普段見慣れない道具で火を生む様子はやはり興味深いようで、一同が真剣に見入っていた。

その他にも二日目の昼食に恒例の流しそうめんを楽しんだ後、最後には参加者一人一人に修了証が手渡され滞りなく閉会した。

【参加者の声(石川紗菜会員)】

ともしびのつどいには、今回初めて参加をさせていただきました。教化委員会の一員として準備の段階から携わり、分からないことばかりでしたが、良い経験になりました。

絵馬を制作するクラフトや、近隣の神社への参拝など、子どもたちと同じ目線に立ち、楽しんで日程を終えることが出来ました。

又、光栄なことに神話の紙芝居の読み手を任せていただき、緊張しながらも最後まで読み上げました。子どもたちの感想文に紙芝居について書いてあったことが嬉しく思っています。

貴重な体験をさせて戴き、本当にありがとうございます。



滋賀縣護國神社みたま祭

八月十三日から十五日にかけて、滋賀縣護國神社にて恒例のみたま祭が斎行された。

台風七号の影響で提灯等の点灯は十三日のみとなったが、祭典は厳粛に行われ、当会からは会員五名が参列し、我が国のために護國の英霊となつた方々へ感謝の誠を捧げた。

【参加者の声(中山慶太事務局長)】

台風の接近する中、みたま祭に参列させて戴きました。

当初は例年通り、十四日に参列する予定でしたが、台風七号の接近に伴い、急遽一日前倒しての参列となり、そのような提案を聞き入れて下さった滋賀縣護國神社様に、まず一言感謝の言葉を申し上げます。

私達が日々平和な社会で暮らしていることの意味を今一度見つめ直し、尊い命を捧げられた英霊に対して感謝の気持ちを含め、祈りを捧げ、参拝致しました。

本年は急遽の日程変更により、参列が叶わなかった会員もおりましたが、次年度以降も変わらず、英霊に対する畏敬の念を深め、受け継ぐためにも、多くの会員の自発的な参列を期待しております。



防犯カメラ販売・機械警備

DAISHIN

まごころと安心をモットーに!!

総合管理

株式会社 大進

〒523-0894

滋賀県近江八幡市中村町 2-4

電話：0748-33-3614

FAX：0748-33-3695

会社 HP から
業務内容を
御覧下さい



京装束・京神具・授与品・記念品
滋賀県神社庁御用達

株式会社 高瀬装束店

〒600-8076

京都市下京区高辻通高倉角泉正寺町四七三

電話 〇七五 三五一 九四九四番

FAX 〇七五 三五二 一九〇九番

〒525-0034 草津市草津二一七一八

電話 〇七七 五六三 一五四四八番

FAX 〇七七 五六三 一五四四八番

創業 寛永年間 宮内庁御用達



(株) 高田装束店

〒602-8003 京都市上京区清和院町五五五番地
電話 〇七五 四四二 〇九五二 FAX 〇七五 四四一 三五四七

自然の魂を大切にし
創作想像
伝統継承
伊勢 神公堂
御用達

TEL 0596-20-1123
FAX 0596-20-1133

交通安全祈願祭並びに交通遺児募金活動

九月二十六日、日牟禮八幡宮能舞台に於いて交通安全祈願祭が斎行された。本活動は昭和四十八年より開始し、本年度で五十年目の節目を迎える。

祭典前に楼門前で行われた交通遺児のための募金活動では、参拝者や通行する人々から多くのご協力を戴いた。

その後の祭典では、会員十四名が参列し、社長の玉串拝礼に合わせ一人一人が交通遺児の健やかな成長を祈念すると共に、今一度交通安全に努めることを誓った。

今回皆様よりお預かりした募金は、滋賀県にお住まいの交通遺児及びそのご家族に対して支援活動を行っていただける「公益財団法人おりづる会」へお渡しした。



【参加者の声（河毛照仁理事）】

今回初めて交通安全祈願祭並びに募金活動に参加させて戴きました。平日ではありましたが、多くの方々に募金を戴き、交通安全祈願祭も滞りなく執り行うことが出来ました。

車社会の現代に於いて、未だ交通遺児の子どもたちは増え続けています。今活動により世の中への周知を促すことで、人々が安全運転への意識を高め、一人でも多くの子どもたちの支えになればと切に願っております。

私自身、会員としての活動は浅く未熟ではあります。神青活動を通して先輩方のお姿を見習い、自らの研鑽に繋げると共に出会いの場を広げ、貴重な経験を日々の神明奉仕に活かしていきたいと思っております。

T-Chara Web AR
ティーキャラウェブエーアル

アプリスでカンタン
気軽にAR体験

スタンプラリー機能
も付けられます!

有限会社
田中印刷所
<http://www.tanakaprint.co.jp>
〒522-0043 滋賀県彦根市小泉町1042-1
TEL 0749-22-0362代 FAX 0749-22-3761

神社寺御用
たなか

授与品・奉製
田中種凡

〒602-8236
京都市上京区旧大宮通
一条下ル庇町187-9
TEL・FAX 075-432-2327

東具 宮内庁御用達
装神 有限会社
京神 **竹重**

フリーダイヤル
012013710394

京都市下京区西洞院花屋町上る
東側町510

多賀名物
香切餅
香切餅はピンクの包装紙が目印です。

総本家 **多賀や**

全国地方発送OK!!
多賀町多賀601 ☎0749-48-1430

会員研修旅行

十月十一日、伊勢の神宮に於いて会員研修旅行を行った。

今回の研修旅行は、会員同士の親睦を深めることはもとより、当会の恒例事業である大麻頒布活動のより一層の充実を目的に開催した。

参加者はまず外宮に於いて御神楽を受け、御垣内参拝を行った。その後せんぐう館を拝観させて戴きご説明を戴いた。

午後からは「神宮大麻」について、神宮大麻の誕生を始め大麻頒布の変遷について等、普段神職として触れることが出来ない貴重なお話の数々を拝聴することができた。

【参加者の声（吉田太樹会員）】

秋の心地良い天候に恵まれ、会員十三名参加のもと研修を迎えることが出来ました。

今まで内宮で御神楽を受ける機会は幾度となくありましたが、今研修では外宮での御神楽を受ける運びとなり、私自身初めての経験で胸が高鳴りました。

神宮大麻にどのような意義があるのかを知り、重要性を再認識しました。この度の貴重な学びを糧に、今後の大麻頒布活動に尽力していきたいと考えています。



「神青お社」について

滋賀県神道青年会では、遷座祭等の仮殿としてご使用戴ける「神青お社」を貸し出ししております。様々な場面で青年会も関わることによって、会員にとっては更なる経験を積める機会となりますので、是非ともご利用戴けたらと思います。お問い合わせ等は左記までご連絡下さい。

お申込先…企画委員会 下井紀貴
電話…〇七四八―七五―〇七七五



株式会社 HASEGAWA creation with warmth

授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川義貴

〒520-0011 滋賀県彦根市島居本町1-1
TEL 0749-23-1181
FAX 0749-23-1181

伝統を未来へ

多賀大社社殿修復

社寺建築設計施工・国宝重要文化財修理

株式会社 西澤工務店
株式会社 西澤古建築設計事務所

522-0004 滋賀県彦根市島居本町1980-2
TEL 0749-23-6185 FAX 0749-26-4767
http://www2.ocn.ne.jp/~nkomu/

奉じる心を大切に

京都・吉祥院

金襴錦守・絵馬・木札・紙札・記念品 製造販売

全国社寺 授与品 総合奉産 調度品

東和奉産株式会社

本社・工場 〒601 8348 京都市南区吉祥院観音堂町七
電話代表 〇七五六九一―三〇〇〇
FAX 〇七五六九一―三三〇〇
E-mail info@towahosan.jp

国宝、重要文化財保存修理工事
社寺建築工事及び社寺屋根工事
社寺・住宅（新築）設計監理施工
社寺・民家（修復調査）
桧皮葺・柿葺・茅葺・銅板葺

SHAJI

田中社寺株式会社
（株）丸繁建築設計事務所

※御見積等、御一報次第参上致します。

〒500-8483
岐阜県岐阜市加納東丸町2丁目20番地
TEL 058-272-2871
FAX 058-276-1329
http://www.tanakashaji.co.jp
E-mail: info@tanakashaji.co.jp

神道青年近畿地区連絡協議会 親睦ボウリング大会

六月六日、大阪府堺市に於いて、近畿地区ボウリング大会が開催された。天候不良のため、野球大会に代えての開催となったが、ボウリング会場は大きく盛り上がった。

当会からは十四名が参加し、菱川副会長の活躍で善戦したものの、優勝は昨年の野球大会に続き奈良県で、当会は惜しくも四位という悔しい結果となった。その後、大鳥大社で行われた表彰式では、齋藤丈留会員が優秀選手に選出され、景品を授与された。

会員一丸となり戦い、お互いの絆が深まる有意義な大会となった。今後も未だ掴めずにいる念願の優勝を目指すと共に、多くの会員にご参加を戴き、会員同士の親睦を深めたい。毎度、大会前には練習を行っているのですが、是非ともそちらにもご参加戴きたい。



全国戦歿学徒追悼祭

十月二十一日午前十一時、「全国戦歿学徒追悼する會」主催の「第二十九回全国戦歿学徒追悼祭」が約二百名の参列のもと厳粛に斎行された。

鳴門海峡や麗しき山々を遥かに見渡す、南あわじ市阿万大見山「若人の広場公園」にて、爽やかな秋風が吹く中、野上会長をはじめ、各府県会員が祭典奉仕にあたり、全国の青年神職が参列した。

追悼祭は、斎主である野上会長の祭詞奏上に続き、「全国戦歿学徒を追悼する會」会長、兵庫県知事による追悼文、巫女による神楽奉仕、般若心経読経、讚美歌奉唱、玉串拝礼、献花をし、学徒の鎮魂安霊を祈念した。



創業 明治以前

各種御神符・守札等授与品奉製

湊御神符奉製所

株式会社 湊

伊勢市神宮会館前
〒516-0025
tel 0596-212124
fax 0596-218445

info@ise-minato.co.jp
http://www.ise-minato.co.jp

足袋・白衣・襦袢・草履・袴等の販売

みつば和装株式会社

〒578-0961
大阪府東大阪市南鴻池町1-6-1

【電話】06-6746-7904
【FAX】06-6746-6779
【E-mail】info@mtb.ne.jp

通販サイト <http://www.mtb.ne.jp>

みつば和装

新嘗祭御神酒(白酒) 謹醸元

御神酒

藤居本家 **旭日**

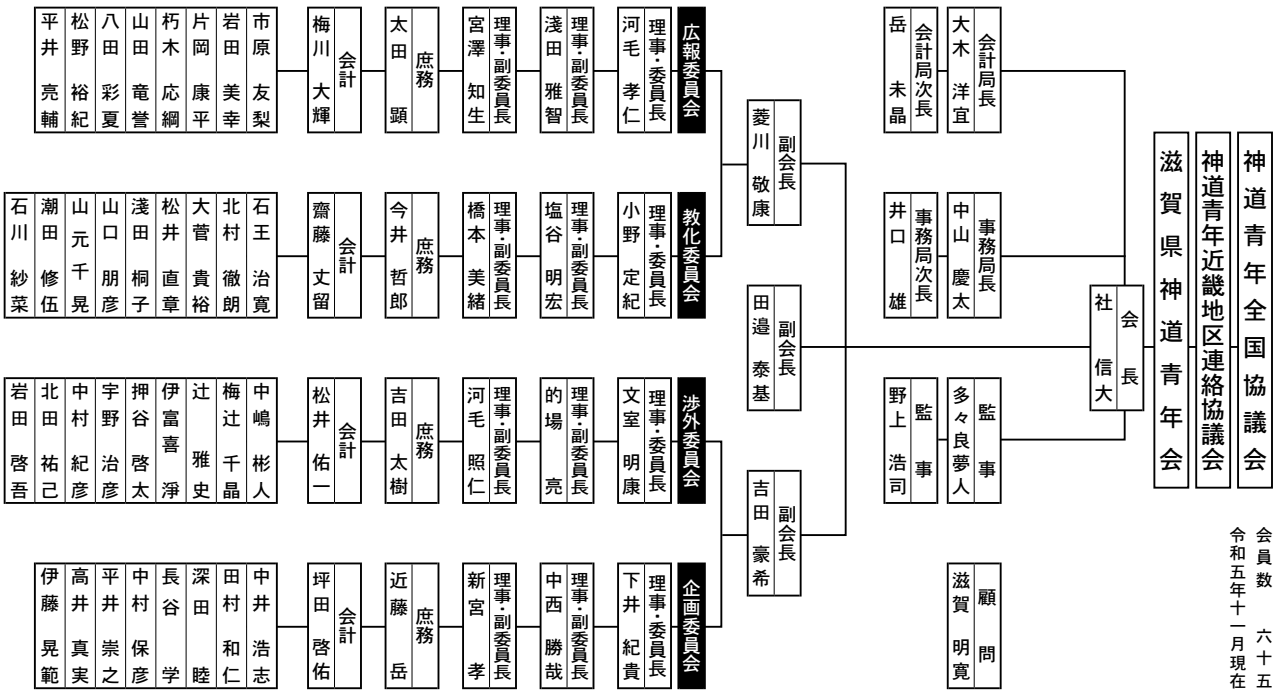
雨の日の祭礼もこれで安心!

御装束や祭具を守る

パールトーン

本社：〒615-0005
京都市右京区西院春栄町 2-1
TEL 075-312-1121・1137
札幌 仙台 東京 名古屋 九州
<http://www.pearltonetone.com>

令和五年度 滋賀県神道青年会 組織図



会員数 六十五
令和五年十一月現在

入退会者報告

卒業会員(四名)
令和五年三月末日付

伊東 良祐 (三尾神社禰宜)
梅辻 祥生 (白鬚神社禰宜)

中井 昭宏 (八幡神社禰宜)
野口 大介 (日雲神社禰宜)

退会会員(一名)
令和五年三月十五日付

中嶋 悠一郎 (日枝神社禰宜)
新入会員(一名)

長谷 学 (多賀大社出仕)
令和五年三月二十一日付

昭和六十三年五月三十日生



インスタグラム

滋賀県内の神社・お祭りを紹介しております。#滋賀県神社を付けて投稿して戴くと当会アカウントでご紹介させていただきます。フォロー・いいね宜しくお願い致します。



野球部・ゴルフ部 部員募集



お問い合わせ先 河毛 孝仁
電話〇八〇一六二六〇一五七二四

編集後記

発行にあたり業者の皆様より多くのご協賛を戴きました。時節柄、ご無理なお願いを快くご協賛下さった業者の皆様方には厚く御礼申し上げます。
また本号にご寄稿戴いた会員の皆様には、お忙しい中、引き受けて戴き心より感謝申し上げます。
皆様のお蔭をもちまして本年も「にほのうみ」第五十三号を発行する事が出来ました。
本年はアフターコロナの中での活動となりますが、活動基本方針の『未来のために、今できること』をテーマに積極的に事業に取り組み、様々な活動を行ってききました。今後も会員一丸となって各種事業に取り組んで参りたいと思っておりますので、皆様のご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

YPG

ヨシダ印刷株式会社 関西支店



来福 お守り
全10色 各1体 583円
株式会社 民俗工藝
TEL 0956-34-5500
FAX 0956-34-5511
〒857-1162 長崎県佐世保市御本町18-1